

# 点描ぐんま経済

日銀支店長 見聞録

■53■

群馬県は本当に自然が豊かだ。よく言われることだが、最近、さらにその思いを強くした。

それは、今年のゴールデンウィークにさまざまな温泉を巡ったからだ。赴任してからお会いする方々にお勧めいただいた、万座、四万、宝川、法師の四つの温泉にお邪魔した。最初の万座温泉に行った日は、ゴールデンウィークの中でも最も寒かった日。旅行に行く1週間前から天気予報を確認していたところ、予報は何と雪。このため、レンタカーシヨップに「スタッドレ

## 自然豊かな群馬

### 県民の人間性を育む

スタイヤでお願ひします」と電話。そうすると、「この時季にスタッドレスですか？」との質問。私は「北毛に行くので」とお願い。

が、何とも風情のある温泉地ばかり。その中で印象的だったのが、川のほとりの温泉宿に泊まった時のこと。川の近くなので、当然のことながら、川の流れの音が聞こえるだろうと想像していたのが、想像していたのは「川のせせらぎ」と。関東の水がめになって、川の音が落ちてもらうように頼んでみる？」と会話。ここで痛感したのは、群馬県が多くのソメイヨシノを堪能させていた。多くのソメイヨシノを堪能させていた。多くのソメイヨシノを堪能させていた。

いざ、その日、嬌恋までは晴れていたのだが、万座ハイウエーを上りだすと、この時季には珍しくふぶいていた。スタッドレスにしている良かった。でも、温泉の湯は最高。日本で一番硫黄含有量が多いらしい。

その後、続けて三つの温泉にお邪魔した



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。

ところが、部屋に入ると、想像を大きく上回る、ものすごい大きい音。こ音と言ってもよかったです。そっか、この時季は雪解け水で川の水は不思議なもので、自

いるということ。群馬が、群馬県人の豊かな人間性を育んでいるのだと思った。私も、少しは人間性が豊かになったかなあ？